

2023年度 薬学研究科薬科学専攻 修士論文公聴会 開催通知

立命館大学大学院薬学研究科長  
北原 亮  
(公印省略)

2023年度薬学研究科薬科学専攻 修士論文公聴会を以下の通り開催いたします。

開催日 2024年2月9日(金)

【薬品分子創製化学分野/生体分子解析学分野】

会場	時間	氏名	分野	研究室名	指導教員	修士論文タイトル
ラルカディア 202	10:30~10:45	井上 琉聖	薬品分子創製化学分野	天然物化学研究室	林宏明	組換え酵母を用いたトリテルペンの生合成研究
	10:45~11:00	中谷 有暉	薬品分子創製化学分野	生命薬化学研究室	古徳直之	酸化分子内環化反応を用いた3-(phenethylamino)demethyl(oxy)aaptamineの全合成研究
	11:00~11:15	福岡 光志郎	薬品分子創製化学分野	生命薬化学研究室	古徳直之	硫黄含有海洋アルカロイドaleutianamineの合成研究
	11:15~11:30	山田 航平	薬品分子創製化学分野	精密合成化学研究室	土肥寿文	超原子価ヨドニウム塩と含フッ素カルボニル類の遷移金属フリーカップリング反応
	11:30~11:45	BAE Taeho	薬品分子創製化学分野	精密合成化学研究室	土肥寿文	ジアリールヨドニウム塩による芳香族アミド類の新規メタルフリーO-アリール化反応
	11:45~12:00	DU Tianqi	薬品分子創製化学分野	薬品分子化学研究室	梶本哲也	D-グルクロン酸と L-イズロン酸の簡易なグリコシル化反応の開発
	13:00~13:15	有馬 僚	生体分子解析学分野	臨床分析化学研究室	井之上浩一	Single Reference-HPLC法による血清中におけるカルバマゼピン及びその活性代謝物のスクリーニング分析の構築
	13:15~13:30	金子 東暉	生体分子解析学分野	臨床分析化学研究室	井之上浩一	Chemical-tagging LC-MS/MS法による腸内細菌叢由来代謝物の同時定量法の確立
	13:30~13:45	真宮 彩乃	生体分子解析学分野	臨床分析化学研究室	井之上浩一	食品中C6-C9有機フッ素化合物の含有量調査を指向した高精度かつ高選択的LC-MS/MS分析法の構築
	13:45~14:00	上村 宏一	生体分子解析学分野	システム細胞生物学研究室	河野貴子	好中球の遊走メカニズムの解析とその応用
	14:00~14:15	北村 聖時	生体分子解析学分野	生体分子構造学研究室	北原亮	RNA結合タンパク質fused in sarcoma (FUS)の液液相分離(LLPS)：サイズ分布解析とFUS-LLPSの浸透圧調節物質の効果
	14:15~14:30	小出 怜奈	生体分子解析学分野	生体分子構造学研究室	北原亮	ジスルフィド結合形成タンパク質DsbA のコンフォメーション平衡の研究
	14:30~14:45	白砂 雄太郎	生体分子解析学分野	生体分子構造学研究室	北原亮	RNA結合タンパク質 fused in sarcoma(FUS)の液液相分離および凝集発生メカニズムの解明
14:45~15:00	益田 歩美	生体分子解析学分野	生体分子構造学研究室	北原亮	シアロバクテリア概日時計に及ぼす圧力効果と添加物効果	

【生体機能薬学分野/薬物動態解析学分野/薬物作用解析学分野】

会場	時間	氏名	分野	研究室名	指導教員	修士論文タイトル
ラルカディア 103	10:30~10:45	大森 駿一	生体機能薬学分野	細胞工学研究室	高田達之	化学物質がゼブラフィッシュ胚の頭部および胴尾部形成に与える影響
	10:45~11:00	田屋 智貴	生体機能薬学分野	細胞工学研究室	高田達之	17betaエストラジオールによるレチノイン酸シグナルの促進とそのメカニズム
	11:00~11:15	澤田 綾	生体機能薬学分野	神経発生システム研究室	小池千恵子	網膜層構造形成における細胞極性因子の果たす役割
	11:15~11:30	中村 峻哉	生体機能薬学分野	神経発生システム研究室	小池千恵子	視覚応答解析におけるマウス行動様式の解析
	11:30~11:45	伊藤 健志	薬物動態解析学分野	分子薬物動態学研究室	藤田卓也	薬物の消化管吸収予測におけるBCRPの高とおよび種差に関する研究
	11:45~12:00	野田 歩美	薬物動態解析学分野	レギュトリーサイエンス研究室	細木みこ	医療ビッグデータを用いた運発性消化管傷害を発現する医薬品の探索および発現リスク評価
	13:00~13:15	松田 清那	薬物動態解析学分野	医療薬理学研究室	桂敏也	アピキサン内服患者における出血症状発現に関する臨床薬理学的研究
	13:15~13:30	松井 郁弥	薬物動態解析学分野	分子薬理学研究室	菅野清彦	炭酸緩衝系pH-shift試験の開発と腸溶錠の溶出性評価
	13:30~13:45	山元 響己	薬物動態解析学分野	分子薬理学研究室	菅野清彦	炭酸緩衝液が薬物の折出挙動に与える影響
	13:45~14:00	岩下 夏未	薬物作用解析学分野	薬効解析科学研究室	北村佳久	Involvement of autophagy activation on galantamine-induced reduction of $\alpha$ -synuclein aggregation
	14:00~14:15	難波 純也	薬物作用解析学分野	薬効解析科学研究室	北村佳久	Neuropharmacological profiles of synucleinopathy mouse model with galantamine treatment
	14:15~14:30	菅原 遼	薬物作用解析学分野	病態薬理学研究室	天ヶ瀬紀久子	抗がん剤誘起性腸粘膜炎症の病態に関する検討
	14:30~14:45	深津 陽大	薬物作用解析学分野	病態薬理学研究室	天ヶ瀬紀久子	トキソリン誘発心毒性におけるNOX1/NADPHオキシゲナーゼの役割
	14:45~15:00	藤原 亜耶奈	薬物作用解析学分野	病態薬理学研究室	天ヶ瀬紀久子	肝線維症モデルの確立と治療候補薬に関する検討

※会場は変更になる場合があります。変更が生じた場合は改めて連絡します。